2015年（平成27年）
2月4日
Elderly Press Newspaper
エルダリープレス ニュースペーパー
（毎週水曜日発行）
第336号

週刊 高齢者住宅新聞

（株）高齢者住宅新聞社　〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15　TEL.03-3543-6852（編集部）
http://koureisha-jutaku.com　発行人　西岡一紀　年間購読料 21,600円（送料込・税込）

リハビリ型デイで地域貢献

健康寿命の延伸目標

兵庫県豊岡市で訪問介護事業所と居宅介護支援事業所を運営するライフさぽーと（兵庫県豊岡市）は1月15日に短時間型のリハビリ型デイサービス「アウル」を兵庫県豊岡市で開設した。介護予防で地域貢献を果たしながら、介護保険外のサービスも確立していくことで元気高齢者の支援とともに経営の安定化を図っていく。

藤原清明代表

ライフさぽーと

同社の藤原清明代表は介護福祉士とケアマネジャーの資格を持ち、特別養護老人ホーム、デイケア、訪問介護事業所などに勤務してきた経歴を持つ。2013年に「訪問介護事業所で働いていた際、訪問介護員の力を借りながら在宅生活を続けている高齢者を見て訪問介護の魅力と重要性に気付いた」（藤原代表）ことから訪問介護と居宅介護支援の事業所を開設し独立。社名は〝生活を支える〟企業でありたいとの思いから「ライフさぽーと」と名付けた。

今年1月15日には地域住民が身体機能の維持・改善を図ることができる場所の創設を目指してリハビリ型デイサービス「アウル」を開設した。

▲リハビリ型デイサービス「アウル」の外観

サービス均質化 会話等も大切に

デイサービスの定員は午前・午後各10人。藤原代表を含めた4人の介護福祉士と機能訓練指導員である看護師1人で利用者のサポートにあたる。リハビリは過去に勤務したデイサービスで「負荷および負荷調整が適切かどうか疑問を感じていた」ことから利用者個々に適した負荷調整を自動で行う「リハトレーナー」（販売・サロンオールディーズ／東京都中央区）を採用し提供する。

デイサービスにおけるリハビリの効果については一般的に、各事業所の職員が逐一検証し、継続的に評価していくが、その内容は職員個々の経験・知識・スキルによるところが大きい。しかし、リハトレーナーには身体機能の改善度を数値やグラフで示す機能が備わっているため、評価の内容を均質化することができる。

リハビリプログラムは4台のマシンで行う一つひとつのリハビリが東京都老人総合研究所考案の高齢者向け運動理論に基づいているため根拠があり、差別化に繋げやすい。利用者個々の負荷調整が自動化されていることや運動効果を数値・グラフ化する機能により利用者のモチベーションを維持しやすく、家族やケアマネジャーにも報告しやすい。

近年、リハトレーナーを導入する事業者は全国で増えており、藤原代表も「マシンそれぞれに備えられた負荷や回数、セット数を表示するパネルにより利用者が意欲的にリハビリに励むことができ、職員の負担軽減にも繋がっている。当社では利用者とのコミュニケーションを大切にすることで職員が売りとなる企業を目指しているが、このようなマシンを使用すればリハビリ型デイサービスの職員でも利用者との会話の時間を十分作ることが可能だ」と説明する。

◆◆◆

ほかにも同施設では帰宅前に、豆から挽いたコーヒーを喫茶店のようなカップで提供し、職員や他利用者との会話を促すことで新たなコミュニティの創造にも取り組む。介護予防で健康寿命を延ばし、豊岡市の高齢者が仲間とともに楽しく自宅で生活し続けるためのサポートを行う企業となることが目標だ。

藤原代表は「デイサービスの稼働率は半年で70%以上にし、来年にはもう1店舗開設したい。まずはリハビリ型デイサービス3店舗の運営を目指す。その上でシニア向けフィットネスのような介護保険に頼らないビジネスモデルも早急に確立し、豊岡市の元気高齢者の健康維持にもかかわっていきたい」とし、今後も意欲的に事業を拡大していく方針を掲げている。

▲「リハトレーナー」を使いリハビリを提供する